

サトイモはやっと芽が見えてきました。ムギ類は黄色く色づき始めました。エンドウマメは大収穫で、遠足で通りがかった保育園児に声をかけて収穫してもらいました。野菜嫌いが減るとよいのですが…。サツマイモほか夏野菜も定植、今週はきっと梅雨入りですね。狭い庭にもユリやクレマチスが咲きました（写真）。遠雷が聞こえ始めました、夕立が来るのかな。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。ご関心のあるご友人に転送などご紹介いただき、「辺境」の地道な市民活動に関心のない薄情なマスコミやギョウセイではなく、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとうれいです。

## ○報告

1. FAO 世界農業遺産の関連情報をお伝えするウェブページ『**雑穀街道**』を作り、**雑穀街道普及会**の賛同者を募っています。賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。雑穀街道普及会として、山梨県、丹波山村、小菅村、上野原市、神奈川県、相模原市の首長にお手紙をお送りしました。それぞれのご担当者からご対応があれば、趣旨説明に伺います。下記ホームページに活動の現況を順次更新していきます。関東山地で雑穀調査研究を始めたころからの文献や資料を掲載しています。FAO 世界農業遺産に関連資料はすべていただけてきましたので、「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」の移転後できるだけ早く、見ていただけるようにします。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

## 2. 植物と人々の博物館の移転

小菅村中央公民館から、村内の細川邸倉庫に移転します。5月中旬に自然文化誌研究会関係の民具・図書などをおおよそ梱包しました。6月中旬に移動する予定です。ご協力をお願いします。小菅村の民具の措置についてまだ確定していません。

## 3. ミレット藤野・自給農耕ゼミ

日時：5月28日（日）、場所：藤野駅北の畑。西原の中川さんに栽培実技を教えてくださいました。6名の参加者と一緒に、約5アールに11人で雑穀の播種をしました（写真）。

4. NPO **さいはらで雑穀街道**をめぐる基礎調査をトヨタ財団の助成によってするそうです。雑穀街道普及会として協力できるとよいと思います。

## ○予定

1. 作業予定日：6月16日（金）、23日（金）、30日（金）ほかの予定です。

6月に移動予定で、作業にご協力いただきたく、よろしく申し上げます。資料の梱包は大方で来ましたので、資材・本箱などから村内の倉庫に順次移動します。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。細川邸付属倉庫は2階建てで、各55畳の広さです。ご都合に合わせて、日程調整します。[kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

2. ミレット藤野で雑穀栽培ワークショップが企画されています。

5月下旬から秋まで6回、播種から加工・調整、調理まで実技と講義を行います。詳細は下記ホームページにあります。

<http://www.milletimplic.net/collegefores/milletfujino17.pdf>

申込先：メール [milletfujino@gmail.com](mailto:milletfujino@gmail.com) ファックス 042-687-5639

第2回 日時：6月11日（日）。場所：JR中央線藤野駅、北隣接の畑（農業生産法人・藤野倶楽部）。

## 3. 提案

### 1) 第40回環境学習セミナー（案）

話題：自給農耕、家族農業、ファーマーズマーケットの楽しみと食料安全保障について、2・3人の講師をお願いして話し合いたいと考えます。日時：秋。場所：未定。

実施経費について何らかの助成が得られたら、企画を進めたいと思いますので、ご意見をください。

### 2) 日本村塾ゼミ（読書会継続）

皆様お忙しく、なかなか開催できませんが、1名でも希望者があれば開催します。ご意見、ご要望をお知らせください。自給農耕

ゼミはミレット藤野で開催することになりましたので、読書会は下記2ゼミで行います。

**民族植物学ゼミ第5回** 日時・場所：未定。

①農耕文化について学び直したいと思います。

テキスト；中尾佐助 1966、『栽培植物と農耕の起源』、岩波新書（重版あり）、再読したいロングセラーです。参考図書；同左（1967）、農業起原論、森下正明・吉良竜夫編『自然—生態学的研究』、中央公論社、所収。

②自然と感じ合う農耕の楽しさを語り合いたいと思います。民族植物学ゼミ第4回で出た話題を深めます。テキスト；レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。参考図書；同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

**扶桑園ゼミ第3回** 日時・場所：未定。

①明治維新からの日本の在り方を学び、考え直したいと思います。

テキスト；羽仁五郎（1956）『明治維新—現代日本の起源』、岩波書店（絶版中古有）。参考図書；原田伊織（2015）『明治維新という過ち』、毎日ワズ；西鋭夫（2016）『新説・明治維新』、ダイレクト出版；西野辰吉（1972）『秩父困民党』、講談社；森田康夫（1993）『大塩平八郎の時代—洗心洞門人の軌跡』、校倉書房。

②柳田民俗学「稲作単一民族説」の瑕疵や新旧憲法の比較なども話し合ってみたいです。

4. **民族植物学第11号**の原稿締め切りは2017年7月末です。ご寄稿をお待ちしています。環境学習セミナーの報告、野生植物の利用、九州・沖縄の雑穀栽培、信仰論などを準備しています。・・・バックナンバーは第7号以降少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事はホームページで読めます。

5. 『**雑穀のインド亜大陸**』は民族について学びながら、ネパール・ブータンおよびインド各州について、個人の実験をまじえながら、自由に書いています。未定稿ですが順次章ごとに公開し、必要に応じて改訂していきます。同じく、『**環境学習原論**』も書き始めました。ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2017 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

個人HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

\*\*\*\*\*

